



UPS1000IIRT
UPS2000IIRT
取扱説明書 ver1.3



目次

内容

はじめに	3
使用上の注意事項	3
仕様	5
フロントパネル、リアパネル	7
フロントパネル	7
リアパネル	7
設置	8
開梱	8
設置に関する注意点	8
設置と機材の接続	8
ネットワーク機能	9
通信ポート	9
RS232 ポート	9
USB ポート	9
操作手順	10
ボタン操作	10
ディスプレイ	10
UPS のオン/オフ操作	12
UPS 設定	14
bPS (バイパスモード設定)	14
AUO (自動立ち上げ設定)	14
パラメーター	15
動作モード	16
エラーメッセージ	16
アラームコード	19
トラブルシューティング	21
UPS のバッテリーについて	23
管理ソフトウェア UPSmart インストール方法	24
UPSmart 自動シャットダウン設定方法	25
UPSmart バッテリー設定方法	27
保証書	28

はじめに

この度は CLASSIC PRO UPS-IIRT シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品の性能を最大限に活用し末永くお使いいただくため、使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。

使用上の注意事項

- UPS の設置を行う前に、取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は保管し、いつでも読み返せるようにしてください。
- この UPS は屋内での使用を前提に設計されています。
- 直射日光のあたる場所、液体のかかる場所、ほこりや湿気の多い場所でこの UPS を使用しないでください。
- UPS の通気口が塞がれていないことを確認し、適切な換気ができるように、壁際に十分なスペースを確保してください。
- UPS の修理のために、分解等をしないでください。感電する危険があります。
- ヘアドライヤーや電気ストーブなどの強い電力を必要とする機器は接続しないでください。
- 火災が発生した場合、粉末消火器の使用を推奨します。液体消火器は使用しないでください。

注意

UPS を自分で修理しないでください。内部に高電圧になっている箇所があります。不明な点がございましたら、販売店にお問い合わせください。

バッテリーの安全情報

- ・ バッテリー寿命は動作環境の影響を受けます。環境温度の変化、不安定な商用電源、頻繁な短時間の放電はバッテリー寿命を縮めます。
- ・ バッテリーの周辺は火気厳禁です。
- ・ バッテリーを開けたり、傷つけたりしないでください。内部の電解液は皮膚や目に有害であり、失明や、やけどをする可能性があります。
- ・ プラス極とマイナス極をショートさせないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ バッテリー回路は入力電圧から絶縁されていないため、バッテリー端子とアースの間に高電圧が発生する可能性があります。

シンボル	意味	シンボル	意味
	注意		保護 アース
	高電圧危険		アラーム OFF/ミュート
ON	オン		オーバーロード
OFF	オフ		バッテリー点検
	スタンバイまたはシャットダウン		リサイクル
	AC		表示画面リピートキー
	DC		バッテリー

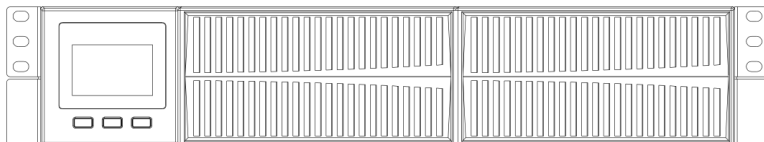
仕様

モデル	UPS1000IIRT		UPS2000IIRT
定格容量	1 kVA / 810W		2 kVA / 1620W
入力			
定 格 入 力 電 圧 (AC)	100 V / 110 V / 115 V / 120 V		
定格入力周波数	50 Hz / 60 Hz（自動）		
入力電圧範囲	50 ～ 80V（50%負荷から 100%負荷の間で直線的に電力が低下）		
	80 ～ 150V（電力低下なし）		
入力周波数範囲	40～70 Hz		
PFC	≥ 0.99		
THDI	≤ 6%		
バイパス電圧範囲	-25% ～ +15%		
出力			
出力電圧（AC）	100 V / 110 V / 115 V / 120 V（設定可能）		
電圧精度	± 1%		
パワーファクター	0.81		
インバーター過負荷 機能	108%～127%負荷：最小 1 分でバイパスモードへ移行		
	127% ～ 150%負荷：30 秒でバイパスモードへ移行		
	> 負荷 150%以上：100ms でバイパスモードへ移行		
メインモードから BAT バッテリー	0 ms		
モードへ切換時間			
メインモードからバイ パスへ切換時間	4 ms		
出力 周 波数	ライン・ モード	入力周波数と同じ	
	BAT モ ード	(50 / 60 ± 0.1) Hz	
全電圧高調波歪み	≤ 2%以下（線形負荷）、5%以下（非線形負荷）		
バッテリー			
バッテリータイプ	シールド鉛蓄電池		
直流電圧	24 V	48 V	
内蔵バッテリー	12 V / 9 Ah	12 V / 9 Ah	
数量	2	4	
充電器出力電圧	27.1V± 0.4V	54.2V± 0.8V	
充電時間	3 時間で約 90%の容量が回復		
充電電流（最大）	1A		
システム制御と通信			
保護	過熱保護、ファンテスト保護、過負荷保護、出力短絡保護、		
	バッテリー放電保護		
通信ポート	USB、RS232		
ディスプレイ	LCD+LED		
動作環境			
動作湿度	0 ～ 95 % RH @ 0 ～ 40°C（結露しないこと）		

保存温度	-25℃～55℃（バッテリーを除く）	
動作高度	≤1000m、1000mを超えると、100m 上がるごとに 1%低下	
保護等級	IP20	
騒音レベル	≤50dB 以下（1m にて）	
その他		
寸法（mm）	440×316×88(2U)	440×468×88(2U)
幅×奥行き×高さ		
重量（kg）	11.5	19.8

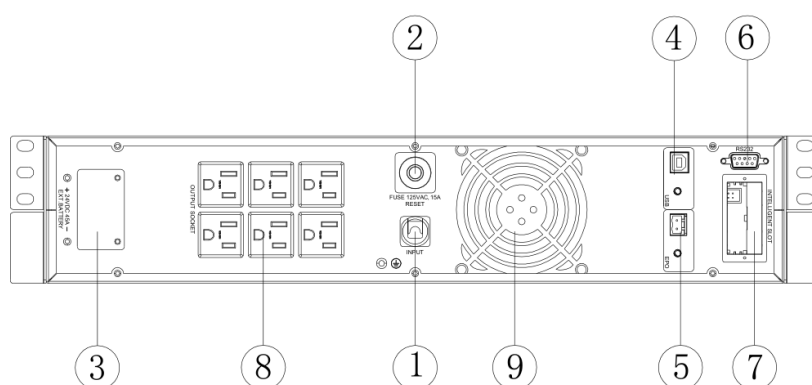
フロントパネル、リアパネル

フロントパネル

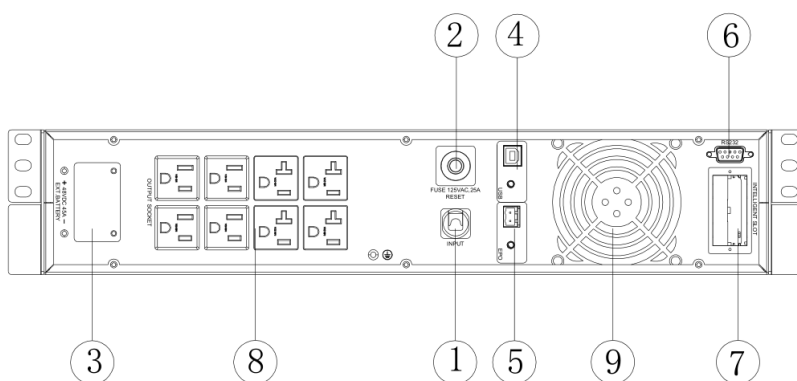


リアパネル

・UPS1000IIRT



・UPS2000IIRT



①AC 電源入力ソケット	⑥RS232 通信ポート
②過電流保護	⑦インテリジェント・スロット (本機では対応しておりません)
③バッテリー接続 (本機では対応しておりません)	⑧出力 AC ソケット
④USB ポート	⑨冷却ファン
⑤EPO (本機では対応しておりません)	

注意

製品のアップグレードにより、実際のユニットは図と異なる場合があります。

設置

開梱

- ・ 梱包を開けて、本体及び付属品が揃っていることを確認してください。
- ・ 付属品は、電源コード、ユーザーマニュアル、USB ケーブルです。
- ・ 輸送中に本機が破損していないか確認してください。破損や部品の紛失を発見した場合は、電源を入れず、運送業者および販売店に連絡ください。

注意

梱包箱と梱包材は、なるべく保管してください。
本装置は重いため、注意して取り扱ってください。

設置に関する注意点

- ・ 水、可燃性ガス、腐食性物質から離れた換気の良い場所に設置してください。
- ・ 前面および側面パネルの吸気口、背面パネルの吸気口が塞がないように設置してください。※壁際に設置しないでください。
- ・ 周囲の環境温度は 0℃～40℃（結露しないこと）の範囲でご使用ください。
- ・ 機材を接続するとき機材の電源がオフであることを確かめてください。機材は1 つずつ始動させて下さい。
- ・ ブレーカーで過電流保護された電源コンセントに接続してください。定格電流が本 UPS の最大入力電流以下の電源コンセントに接続しないでください。
- ・ 安全のため、すべての電源コンセントにはアースを設置してください。
- ・ UPS を取り外すなど、UPS からの出力を **OFF** にするときは、UPS のスイッチを切ってから、UPS の電源プラグを抜いてください。
- ・ 使用前にバッテリーを 8 時間以上充電することをお勧めします。商用電源に接続すると、自動的にバッテリーを充電します。予め充電を行わなかった場合、UPS 出力は通常通りですが、バックアップ時間は通常より短くなります。
- ・ 入力ケーブルと出力ケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認してください。
- ・ 漏電ブレーカーを取り付ける場合は、出力ケーブル側に取り付けてください。

設置と機材の接続

通常、本シリーズの出力には機材を直接繋ぐか、テーブルタップを接続します。感電や火災の危険を避けるため、電源ケーブルとブレーカーの定格が UPS の定格容量以上であることを確認してください。

ネットワーク機能

通信ポート

ユーザーはコンピューターとの標準的な RS232 ポート、または USB ポートを通して UPS システムを監視できます。コンピューターと接続し、UPS を容易に管理できます。

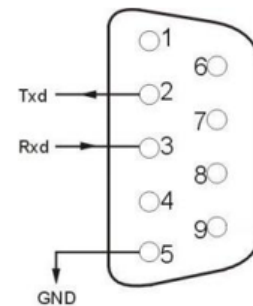
RS232 ポート

ピン	1	2	3	4	5	6	7	8	9
表示		送信	受信		GND				

注意

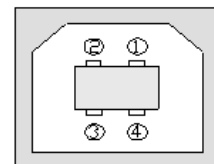
RS232 インターフェース設定

- ・ ビットレート：2400bps
- ・ データ長：8bit
- ・ ストップビット：1 ビット
- ・ ビットパターン：なし



USB ポート

ピン	1	2	3	4
表示	+5V	データ (+)	データ (-)	GND

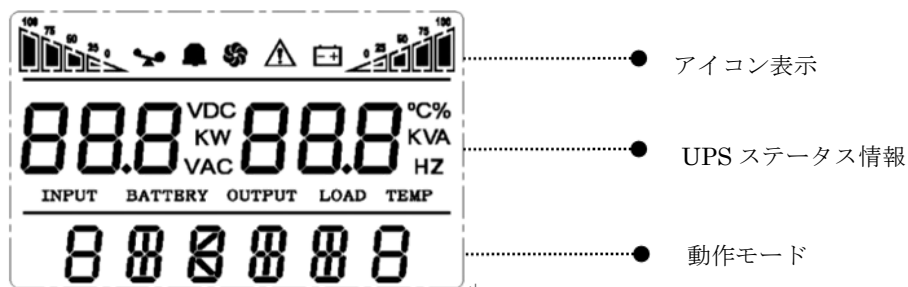


操作手順

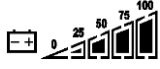
ボタン操作

ボタン	機能
「ON」 ◀ + ▶	左 2 つのキーを同時に 0.5 秒以上押す：UPS の電源が入ります。
「OFF」 ▶ + ▶	左 2 つのキーを同時に 0.5 秒以上押す：UPS の電源が切れます。
TEST/MUTE ◀ + ▶	ラインモード時に 2 つのキーを 1 秒以上同時に押す：UPS はセルフテスト機能を実行します。 バッテリーモード時に 2 つのキーを 1 秒以上同時に押す：UPS はミュート機能を実行します。
機能設定キー ◀	設定モードの切り換え、設定終了などを行います。
設定/確認 ◀、▶	項目を順番に表示し設定項目やオプションを選択します。

ディスプレイ



ディスプレイ	機能
アイコン表示	
	負荷：点灯しているバーのセクションの数で使用負荷を示します。 (0-25%、26-50%、51-75%、76-100%) UPS が過負荷になると、点滅します。
	ミュート：アラームがミュートされていることを示します。 バッテリーモード時にミュートキーを押すと、ミュートアイコンが点滅します。
	ファン：ファンの動作状態を示します。ファンが正常に動作している場合、アイコンは回転を表示し、ファンが接続されていないか故障している場合、アイコンは点滅します。
	故障：UPS に何かしらのトラブルがあり、故障中であることを示します。

	バッテリー残量：バッテリー残量を示します。 (0～25%、26～50%、51～75%、76～100%) バッテリーの容量が少なくなったり、バッテリーが接続されていないとき、バッテリー残量アイコンが点滅します。
UPS ステータス情報	
	設定モード以外：UPS の出力情報を表示します。 エラーモード：エラーコードが表示されます。
	設定モード：機能設定キーと設定キーの操作により、出力電圧他のパラメーターを調整します。
動作モード	
	起動後 UPS の電力容量と動作モードを 20 秒間表示します。 STDBY (スタンバイモード)、BYPASS (バイパスモード)、 LINE (ラインモード)、BAT (バッテリーモード)、BATT (バッテリーセルフテストモード)、SHUTDN (シャットダウンモード)
LED インジケーター	
	右 LED：インバーターモード (緑) UPS がラインモード、ECO モード、またはバッテリーモードの状態で正常に動作しているとき点灯します。 左 LED：アラーム (赤) UPS にエラーが起こったとき点灯します。 注：各モードでのランプ表示については、LED/表示パネルおよびアラームリストを参照してください。

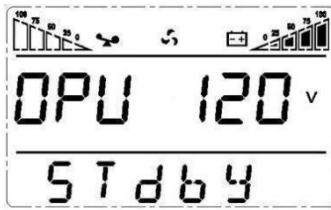
UPS のオン/オフ操作

操作	説明
UPS の電源を入れる	> バイパスモード 商用電源が接続されると、UPS はバイパスモードで動作します。出力電圧は、商用電源からの入力電圧と同じです。 BYPASS を「OFF」に設定している場合、商用電源を接続しても UPS からは出力されません。 デフォルトで BYPASS は「ON」に設定されています。 ON キーを 0.5 秒以上押すと UPS が起動し、インバーターが起動します。 起動すると、UPS はセルフテストをします。セルフテストが終了すると、ラインモードに移行します。 > バッテリーモード 停電時などに使用します。 商用電源を接続していない状態で、ON キーを 0.5 秒以上押して UPS を起動します。 セルフテストが終了した後、UPS はバッテリーモードで動作します。
UPS の電源を切る	> バイパスモードで UPS の電源を切る OFF キーを 0.5 秒以上押すと UPS の電源が切れます。 BYPASS を「ON」に設定している場合、バイパスモードに移行します。 > バッテリーモードで UPS の電源を切る OFF キーを 0.5 秒以上押すと、セルフテストをし、UPS の電源が切れ、パネルに何も表示されなくなります。
UPS セルフテスト/ミュートテスト操作	UPS がラインモードになっているときに、セルフテスト/ミュートキーを 1 秒以上押します。UPS はセルフテストモードになり、UPS の状態をテストします。テストが終了すると自動的に終了します。 UPS がバッテリーモードのときにセルフテスト/ミュートキーを 1 秒以上押すと、ブザーが鳴らなくなります。もう 1 度長押しすると、ブザーが鳴るようになります。
UPS 設定	 を 2 秒以上押すと、設定モードに入ります。   を 0.5 秒以上（2 秒以下）長押しして、設定する機能を選んで下さい。選択した機能が点滅します。  を 0.5 秒以上（2 秒以下）押し続けると、数値が点滅します。   を 0.5 秒以上（2 秒以下）押し続け、数値を選択してください。  を 0.5 秒以上（2 秒未満）押し続けます。これで設定が完了し、数値が点灯に変わります。  を 0.5 秒以上（2 秒未満）押し続け、設定画面を終了し、メイン画面に戻ります。

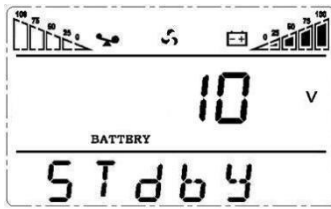
	注意： UPS は起動後、STDBY (スタンバイ)モードに切り替わるまで設定できません。 設定後は商用電源を切ってください。 LCD ディスプレイ画面は約 1 分で自動的に消灯し、設定が保存されます。
--	--

UPS 設定

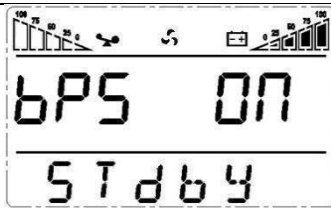
OPU（出力電圧設定）

LCD ディスプレイ	設定
	以下の出力電圧を選択できます。 100 : 出力電圧は 100V 110 : 出力電圧は 110V 115 : 出力電圧は 115V 120 : 出力電圧は 120V 127 : 出力電圧は 127V

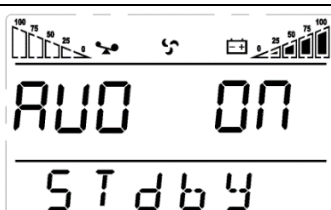
bAt（放電終了電圧設定）

LCD ディスプレイ	設定
	EOD（End of Discharge）として以下の出力電圧を選択できます。 9.8 : 9.8Vdc 9.9 : 9Vdc 10.0 : 10Vdc 10.2 : 10.2Vdc 10.5 : 10.5Vdc dEF（デフォルト） : EOD 電圧は負荷によって自動的に変化 20 時間の放電保護機能が有ります。

bPS（バイパスモード設定）

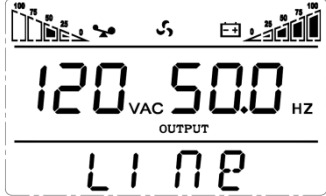
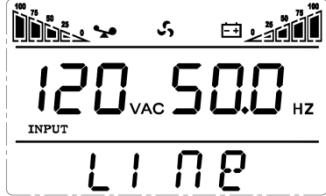
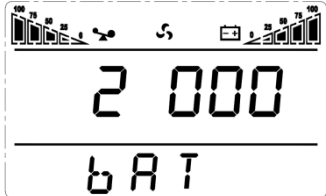
LCD ディスプレイ	設定
	バイパス機能を有効または無効にします。以下の 2 つのオプションがあります： ON : バイパス有効 OFF : バイパス無効

AUO（自動立ち上げ設定）

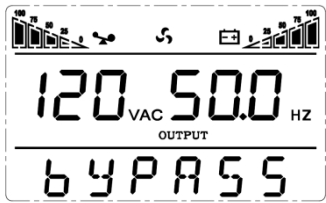
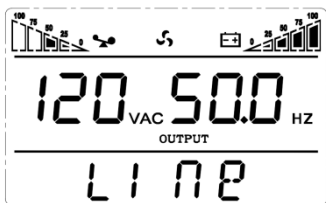
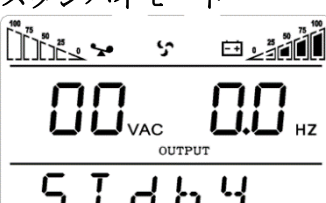
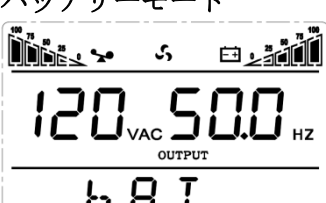
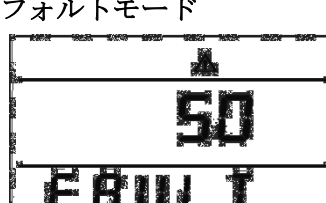
LCD ディスプレイ	設定
	AUO 設定は、STDBY モードまたは BYPASS モードでのみ設定できます。以下の 2 種類から選択できます： ON: UPS は商用電源に接続すると、自動的に LINE モードではたります。 OFF（デフォルト） : UPS は EOD を除いて商用電源を接続しても自動的に始動しません、

パラメーター

◀ または ▶ を 0.5 秒以上（2 秒未満）押すと、パラメーターが表示されます。パラメーターには、入力、バッテリー、出力、負荷、温度があります。LCD 画面に表示される項目は以下の通りです：

LCD ディスプレイ	説明
	出力： UPS の出力電圧と出力周波数を表示します。 （例）出力電圧は 120V、出力周波数は 50Hz
	負荷： 負荷の有効電力（W）と皮相電力（VA）の数値を表示します。 （例）負荷の W は 800W、VA は 1.0kVA（負荷を切断すると、W と VA の数値が小さくなります）。
	バージョンと温度： ファームウェアバージョンと UPS 部品の最高温度を表示します。 （例）ファームウェアバージョンは v1.7、最高温度は 40℃
	入力： 入力の電圧と周波数を表示します。 （例）入力電圧は 120V、入力周波数は 50Hz
	バッテリー： バッテリーの電圧と容量を表示します。 （例）バッテリーの電圧は 24V、バッテリーの容量は 100%です（バッテリーの容量は、バッテリーの電圧に応じて概算されます）。
	警告コード を表示します。

動作モード

LCD ディスプレイ	説明
バイパスモード 	以下の3つの条件でバイパスモードになります。 ・商用電源を接続し、BYPASS 設定を ON にしたとき。 ・ラインモードで UPS の電源を切り、BYPASS 設定を ON にしたとき。 ・ラインモードで過負荷になったとき。 注意：UPS がバイパスモードで動作している場合、機器のバックアップ機能はありません。
ラインモード 	UPS を商用電源に接続し、ラインモードに設定したとき。
スタンバイモード 	UPS の出力は OFF。バッテリーは充電できます。
バッテリーモード 	ブザーが 1 回/4 秒鳴ります。 商用電源電圧が切断、低下、不安定なとき、UPS はバッテリーモードになり、LCD は「bAT」を表示します。
フォルトモード 	UPS に障害が発生すると、ブザーが鳴り、UPS がフォルトモードになります。UPS は出力を遮断し、LCD はエラーコードを表示します。ミュートキーを押してブザーを一時的に停止させ、メンテナンスに入ることができます。また OFF キーを押し、UPS を遮断できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ表

エラーコード	エラータイプ	バイパス出力
0、1、2、3、4	Bus high	yes
5、6、7、8、9	Bus low	yes
10、11、12、13、14	Bus unbalance	yes
15、16、17、18、19	Bus soft start fail	yes
20、21、22、23、24	Inverter soft start fail	yes
25、26、27、28、29	Inverter high	yes
30、31、32、33、34	Inverter low	yes
35、36、37、38、39	Bus discharge fail	yes
40、41、42、43、44	Over heat	yes
45、46、47、48、49	Output short	no
50、51、52、53、54	Overload	yes
55、56、57、58、59	Bus short	yes
60、61、62、63、64	Shutdown fault	yes
70、71、72、73、74	Overload 5 times	yes

LED と動作状態

S/N	動作状況	LCD 表示 メッセージ	アラーム ビープ音	LCD 点滅	LED 点滅	
					インバーター	エラー
1	インバーターモード(商用電源)					
	商用電源電圧	動作モード: LINE	なし	点滅なし	常に点滅	/
	商用電源の高/低電圧保護 バッテリーモードへの切り替え	動作モード: BAT	1 回/4 秒	1 回/4 秒	1 回/1 秒	/
2	バッテリーモード					
	バッテリー電圧正常	動作モード: BAT	1 回/4 秒	1 回/4 秒	1 回/1 秒	/
	バッテリー電圧異常	動作モード: BAT BAT が点滅	1 回/1 秒	1 回/1 秒	1 回/1 秒	/
3	バイパスモード					
	商用電源-正常 (バイパス中)	動作モード: BYPASS	1 回/2 分	点滅なし	1 回/2 秒	/
4	バッテリーが外れている場合の警告					
	バイパスモード	動作モード: BYPASS BAT: 0、常に点滅	1 回/4 秒	1 回/4 秒	1 回/2 秒	/
	インバーターモード	動作モード: LINE BAT: 0、常に点滅	1 回/4 秒	1 回/4 秒	常に点滅	/
	電源オン	電源オン時、LCD は UPS の容量を表示します。 モードは LINE か BYPASS を表示し、BAT アイコンが常に点滅します。	6 回	常に点滅	常に点滅	常に点滅
					/	/
5	出力過負荷保護					
	ラインモード 過負荷に関する警告	動作モード: LINE ロードアイコン点滅	2 回/1 秒	2 回/1 秒	常に点滅	/
	ラインモード 過負荷時の保護動作	動作モード: FAULT、対応 する コードを表示	長いビープ	常に点滅	/	常に点滅
	バッテリーモード 過負荷の警告	動作モード: BAT、ロードアイコン 点滅	2 回/1 秒	2 回/1 秒	1 回/1 秒	/
	バッテリーモード 過負荷時の保護動作	動作モード: FAULT、対応する コードを表示	長いビープ	常に点滅	/	常に点滅
6	バイパスモード 過負荷警告	動作モード: BYPASS ロードアイコン常時点滅	1 回/2 秒	1 回/1 秒	1 回/2 秒	/
7	ファンの故障	ファンアイコンが点滅し、現在の モードに応じて動作モードが表示	1 回/2 秒	点滅なし	/	/
8	故障モード	動作モード: FAULT、数値エリア は対応するエラーコードを表示	長いビープ	常に点滅	/	常に点滅

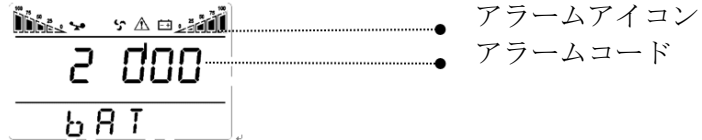
注意

UPS の保守が必要な場合、以下の情報をお知らせください。

- ・ シリアル番号
- ・ 障害発生日
- ・ 故障の詳細 (LCD ステータス、ノイズ、AC 電源状況、負荷容量、バッテリー容量、システム構成など)

アラームコード

アラームコードは下図のように LCD 画面に 4 桁で表示されます：



アラームコード表

'●'はアラーム発生を表し、ブランクはアラームがないことを表します。

	表示値	バイパス異常	リモート シャットダウン	オーバーロード	バッテリーが外れている
右から 1 桁目	0				
	1	●			
	2		●		
	3	●	●		
	4			●	
	5	●		●	
	6		●	●	
	7	●	●	●	
	8				●
	9	●			●
	A		●		●
	B	●	●		●
	C			●	●
	D	●		●	●
	E		●	●	●
	F	●	●	●	●
右から 2 桁目	表示値	過充電警告	商用電源位相反転	立ち上がり異常	充電器の故障
	0				
	1	●			
	2		●		
	3	●	●		
	4			●	
	5	●		●	
	6		●	●	
	7	●	●	●	
	8				●
	9	●			●
	A		●		●
	B	●	●		●
	C			●	●
	D	●		●	●
	E		●	●	●

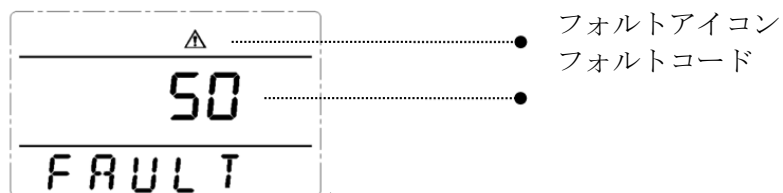
	F	●	●	●	●
右から 3桁目	表示値	EEPROM 異常	ファン異常	ローバッテリー	異常値範囲の中央値
	0				
	1	●			
	2				
	3	●			
	4			●	
	5	●		●	
	6			●	
	7	●		●	
	8				●
	9	●			●
	A				●
	B	●			●
	C			●	●
	D	●		●	●
	E			●	●
	F	●		●	●
右から 4桁目	表示値	過負荷故障	商用電源喪失	バイパス異常	
	0				
	1	●			
	2		●		
	3	●	●		
	4			●	
	5	●		●	
	6		●	●	
	7	●	●	●	

例

LCD 画面にアラームコード「2000」が表示された場合、主電源の喪失を示しています。

トラブルシューティング

フォルトモードになると、LCD ディスプレイ画面は下図のように表示します。



問題点	考えられる原因	対策
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：00-14	内部電源電圧異常	販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：15-24	ソフトスタート異常	販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：25-39	インバーター電圧異常	販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：40-44	オーバーヒート	UPS に過負荷がかかっていないか、ファンの吹き出し口が塞がれていないか、室内温度が高くないかを確認してください。 UPS を 10 分程度放置して冷却した後、再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：45-49	出力ショート	UPS の電源を切り、すべての負荷を切り離します。負荷に障害や内部短絡がないことを確認してください。 その後、UPS を再起動します。それでも問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：50-54	オーバーロード	負荷の総容量を計算し直し、UPS への負荷を減らしてください。 接続した機器に故障がないか確認してください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：55-59	バスショート	販売店にお問い合わせください。
ビープ音が鳴り、 FAULTが表示される。 FAULTコード：60-64	シャットダウン異常	LCD パネルのボタンが押されて戻らないようになっていないか、確認してください。

ビーブ音が鳴り、 FAULT が表示される。 LCD のファンアイコン 点滅	ファンの故障	ファンが正しく接続され固定されているか、ファンが壊れていないか確認し、販売店にお問い合わせください。
電源キーを押しても UPS が起動しない	押す時間が短すぎる	電源キーを 2 秒以上押してください。
	内部バッテリーの 切断	販売店にお問い合わせください。
	UPS 内部システム 障害	販売店にお問い合わせください。
バックアップ時間が短く なる	バッテリーの充電 不足	3 時間以上充電してください。
	オーバーロード	負荷レベルを確認し、重要でない機器を切り離してください。
	バッテリーの寿命、 容量低下	販売店にお問い合わせください。
電源キーがオンなのに、 出力がない	電源のブレーカーが 落ちている	ブレーカーを手動でリセットする。

注意

出力が短絡されると、UPS の保護回路が働きます。UPS を消す前に、全体の負荷を切り離し、商用電源を切ってください。

UPS のバッテリーについて

1. UPS バッテリー 無停電電源装置(UPS)のバッテリーは、密封鉛蓄電池を使用しています。このバッテリーは使用環境や放電の頻度により、使用寿命が変化します。その定格寿命は理想的な環境下において管理された場合、通常約 1～2 年（使用温度 25℃でおよそ 2 年、35℃ではおよそ 1 年です）となります。温度変化や頻繁に放電した場合など、様々な使用環境に応じて、バッテリーの寿命は早期に消耗劣化する場合があります。よって、定期的にバックアップタイムを確認した上で、およそ 1 年ごとにバッテリーを交換することをお勧めいたします。

2. バッテリー寿命の延命策 バッテリーの寿命を最大限に延命する方法として、以下をお勧めします。

- ・ 本機の定格容量に近くなるまで接続機器を増やさず、5 割から 8 割程度を目安に接続してください。停電の際に負荷が一度にかかると、バッテリーの寿命が短くなります。
- ・ レーザープリンター等、大容量の電流を使用する機材を接続しないでください。
- ・ UPS は、できるだけ通気がよく、涼しい場所に設置してください。
- ・ バックアップタイム（ランタイム）を測るために UPS を放電すると、バッテリーの寿命が短くなることがあるため、測定回数は 1 年に 1～2 度程度までを目安に考えてください。

3. バックアップタイムの測定 バッテリーの寿命は、使用しない場合でも短くなります。定期的なチェック（コンセントから電源コードを抜いて時間を測定）を行っていただき、満充電状態からのバックアップタイムが短くなってきた場合は、早急にバッテリー交換をしてください。

4. バッテリーの保管期間 新しいバッテリーの保管期間は、およそ半年を目安に考えてください。バッテリーは、時間が経つにつれて充電容量が失われ、使用できなくなります。

5. バッテリーの破棄方法 使用済のバッテリーにつきましては、地域の条例に従って破棄するか、最寄りの代理店 までお問い合わせください。

管理ソフトウェア UPSmart インストール方法

UPSmart は商品ページよりダウンロードしてください。



1. セットアップ画面が表示されたら「Next」をクリック



2. 使用許諾契約を読み、「I accept the agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリック



3. ユーザー情報：名前、会社名を入力し、「Next」をクリック



4. インストール先に変更がなければ「Next」をクリック



5. スタートメニューフォルダにショートカットを作成: 変更がなければ「Next」をクリック



6. 追加アイコンを作成: 変更がなければ「Next」をクリック



7. 内容の確認をし、変更がなければ「Next」をクリックするとインストールが開始されます



8. インストール完了です



9. 初期設定：「次へ」をクリック



10. Monitor Mode : Mega (USB)



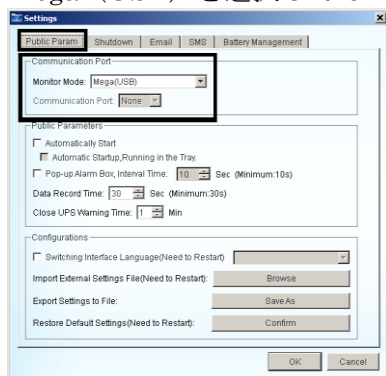
11. バッテリーの数: 2

UPSmart 自動シャットダウン設定方法

1. UPSmart を起動し、ウィンドウが表示されましたら「Settings」を押してください。



2. 「Public Param」→「Communication Port」
Mega (USB) を選択して OK を押してください。



3. シャットダウン時間の設定

「Shutdown」→「Shutdown Parameters」

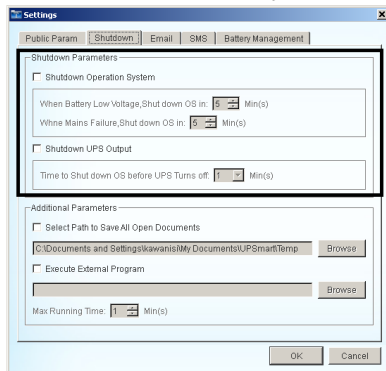
Shutdown Operation System: チェックを入れることで自動シャットダウンが有効

Battery Low Time: バッテリー電圧低下時、シャットダウンを開始するまでの時間（分）

Utility Fail Time: 停電時、シャットダウンを開始するまでの時間（分）

Shutdown UPS Output: チェックを入れることで自動シャットダウン後、UPS の出力停止が有効

Shutdown UPS Delay Time: 自動シャットダウン開始から、UPS 停止までの時間

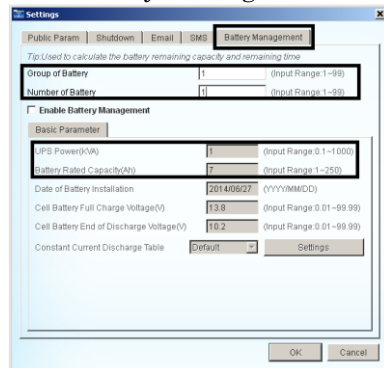


UPSmart バッテリー設定方法

1. UPSmart を起動し、ウィンドウが表示されましたら「Settings」を押してください。



2. 「Battery Management」を押してください。



3. 各項目の設定

「Group of Battery」：1

「Number of Battery」：バッテリーの数→2

「UPS Power (kVA)」：UPS の容量→1.0

「Battery Rated Capacity (Ah)」：バッテリー1 個あたりの容量→9

※ソフト上に表示されるバッテリーの残り時間や容量等の数値は多少の誤差が発生する可能性があります。あくまでも目安としてご利用ください。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より3年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きに基づき、通常の使用で発生した故障については、無料で修理いたします。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理対応といたします。

1. 不適当なお取り扱い方法により生じた故障の場合(例:イヤホンケーブルの断線、外傷、ボイスコイル焼けなどの故障)
2. サウンドハウスおよび指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で既に修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷、もしくは製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災(火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等)による故障および損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障および損傷とみなされた場合
6. 落下など外部から衝撃を受けたことによる故障および損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障および損傷とみなされた場合(例:発電機などの使用による異常電圧変動等)
8. 消耗部品(電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等)の交換が必要な場合
9. 製品の性質上、必要と思われるメンテナンスがされていない、もしくは充分で無いために生じた故障の場合(例:スモークマシンなど舞台演出装置の目詰まり、機器の清掃、ケーブルの交換等)
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の送付・持込等に要する費用はすべてお客さまのご負担となります。ただし事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り、着払いにてお送りいただけます(下記RA番号が必要です)。沖縄など離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。

●RA番号(返品受付番号)

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、弊社サポートより発行するRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状の備考欄に明記してください。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても、商品の仕様および故障から生じる損害(周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害等)に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。